

メディカルレポート

気になる症状 Q & A



山田 潔先生
(形成外科)
日本形成外科学会
臨床研修医、日本
専門医、日本リン
パ学会、日本浮腫
治療学会、日本
指掌学会、日本
リンパ学会

Q 数カ月前に乳がんの手術を受けました。術後に腕や肩の重たさが続いています。適切な検査や治療法で改善しますか（女性・48歳）。

リンパ浮腫の初期症状にはリンパ管造影検査を

A 乳がんの手術の際に、脇の下のリンパ節を切除したり、術後に放射線治療や抗がん剤治療を受ける方も多いと思います。



ICGリンパ管造影検査の写真（左が正常、右がリンパ浮腫の写真）※青マジックがリンパ管。赤マジックがリンパ浮腫の部分

て進行してしまうことがしばしばあります。診断することで、悪化を予防し、より良い日常生活を送ることができません。特に、むくみはそれほどでもないけれど、腕や肩の違和感・重たさが続いている方は、このICGリンパ管造影検査を受けられることをお勧めします。

これらの治療後、実に15〜50%の方がリンパ浮腫を発症しており、全国で5万人以上の患者さんが腕や肩のむくみで悩んでいます。比較的頻度の高い病気ではあるものの、今までは詳しい検査ができない、またはなかなか相談できる窓口がないため発見・治療開始が遅れ

て進行してしまうことがしばしばあります。現在の低侵襲で体表のリンパの流れを観察する検査「ICGリンパ管造影検査」で、それまで分からなかったむくみの原因や一人一人異なるリンパ流の状況を確認できるようになりました。この検査に基づいてリンパ浮腫の早期診断、リンパ流の状況に合わせた適切な治療も可能になりました。むくみが進行してしまいうと治療が難しくなりますが、できるだけ早期に

【メモ】

社会医療法人 光生病院
(岡山市北区厚生町3-8-35)

☎086 (222) 6806

光生病院

検索